

経緯と今後の予定

- 2007 平成19年11月
 - 東京都が「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン」を作成(以降2014,2020に改定)
- 2012 平成24年1月
 - 「特定都市再生緊急整備地域(品川駅・田町駅周辺約184ha)」を指定
- 2016 平成28年4月
 - 国家戦略特別区域 区域計画の認定
 - 品川駅周辺地区地区計画の都市計画決定
 - 品川駅周辺土地区画整理事業の都市計画決定
 - 補助線街路第332号線の都市計画決定
- 平成28年7月
 - 特定都市再生緊急整備地域(品川駅・田町駅周辺)整備計画を作成
- 2018 平成30年6月
 - 品川駅西口地区地区計画の都市計画決定
- 平成30年12月
 - 環状第4号線の都市計画変更
 - 都市高速鉄道第1号線分岐線・京浜急行電鉄湘南線の都市計画変更
 - 品川駅周辺土地区画整理事業の都市計画変更
- 2019 平成31年4月
 - 国家戦略特別区域 区域計画の変更認定
 - 品川駅周辺地区地区計画の都市計画変更
 - 補助線街路第332号線の都市計画変更
- 2020 令和2年2月
 - 補助線街路第334号線(品川駅北口駅前広場)の都市計画決定
 - 補助線街路第332号線の都市計画変更
 - 品川駅周辺土地区画整理事業の都市計画変更
- 令和2年3月
 - 高輪ゲートウェイ駅の暫定開業
 - コの字道路開通
- 2021 令和3年7~9月
 - 東京オリンピック・パラリンピック
- 2022 令和4年6月
 - 品川駅周辺地区地区計画の都市計画変更
- 令和4年11月
 - 品川駅西口土地区画整理事業の都市計画決定
 - 品川駅西口地区地区計画の都市計画変更
- 2024 令和6年~7年
 - 4街区開業(2024年度末)
 - 1~3街区開業(2025年度中)
- 2025 令和9年
 - リニア中央新幹線(品川~名古屋)開業(予定)

品川駅北周辺地区土地区画整理事業

平成28年7月 事業計画認可

品川駅街区地区土地区画整理事業

平成31年4月 事業計画認可

令和元年8月 第1回事業計画変更認可

令和2年8月 第2回事業計画変更認可

令和4年1月 第3回事業計画変更認可

品川駅西口土地区画整理事業

令和5年6月 事業計画認可

令和10年度 換地処分(予定)

令和14年度 換地処分(予定)

令和27年度 換地処分(予定)

※平成31年4月撮影



品川駅周辺エリアの都市再生

国際交流拠点・品川にふさわしい複合市街地の形成

計画のポイント

POINT 1 グローバルな活動拠点にふさわしい都市機能集積

- MICE、ホテル、住宅、業務、商業、文化交流 等

POINT 2 広域アクセス性の効果を最大化する駅機能の強化

- リニア中央新幹線、高輪ゲートウェイ駅設置、品川駅北口駅改良、京浜急行本線連続立体交差化、泉岳寺駅改良、東京メトロ南北線の延伸 等

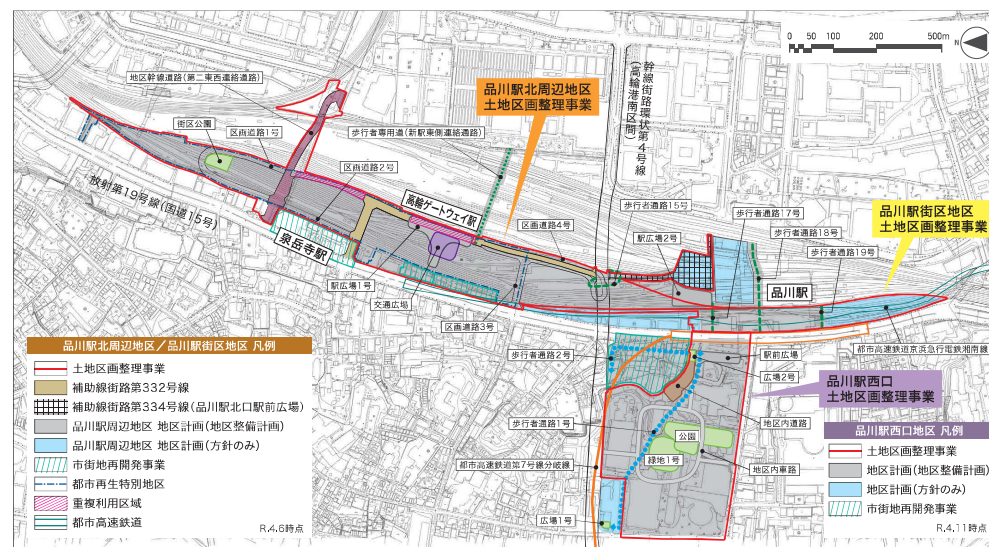
POINT 3 拠点性を高める道路ネットワークおよび快適な歩行者ネットワークの構築

- 品川駅北口駅前広場、西口駅前広場、品川駅自由通路、環状第4号線、第二東西連絡道路、新駅東側連絡通路 等

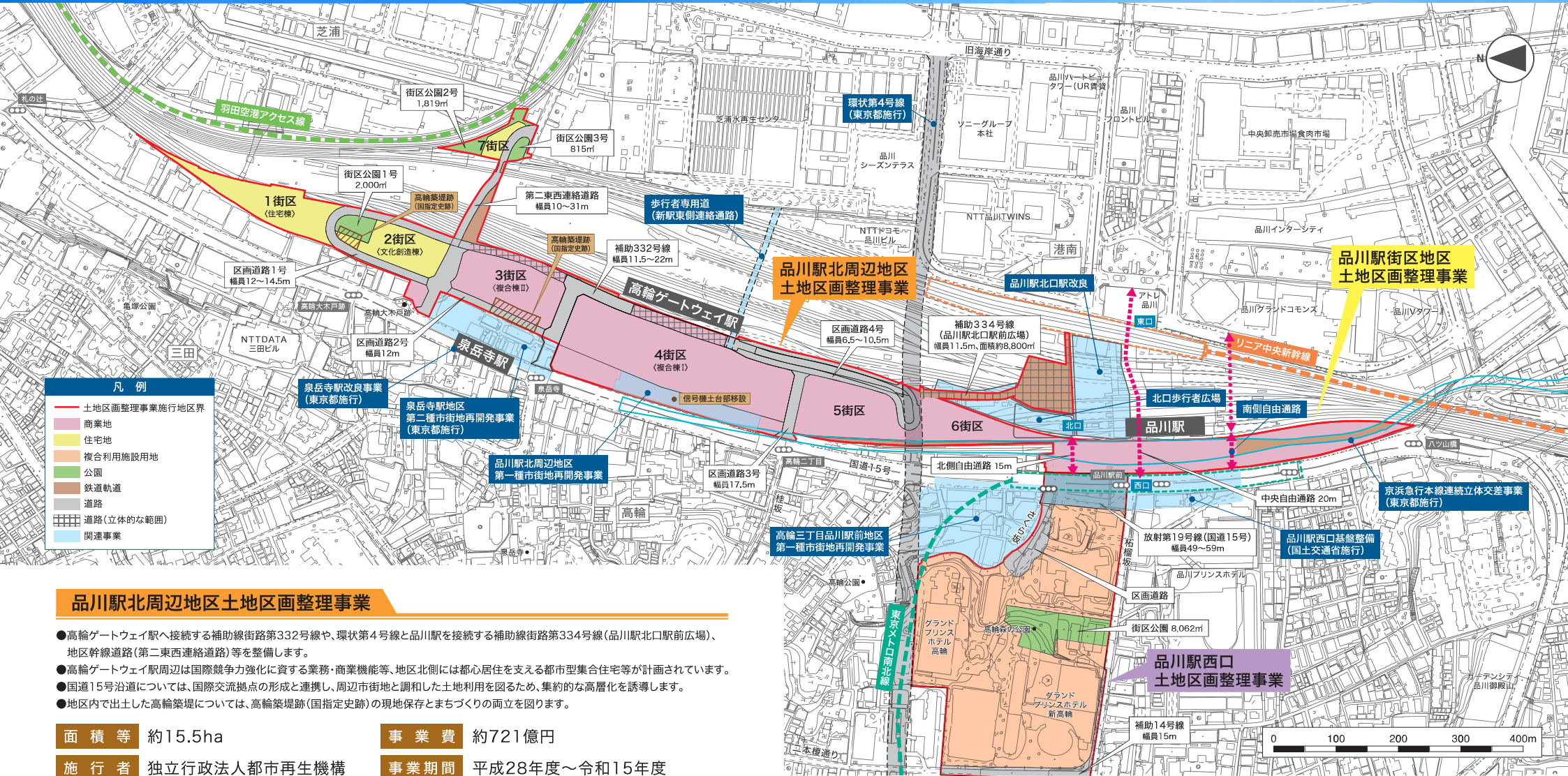


出典「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2020」

都市計画の概要



事業の概要



品川駅北周辺地区土地区画整理事業

- 高輪ゲートウェイ駅へ接続する補助線街路第332号線や、環状第4号線と品川駅を接続する補助線街路第334号線(品川駅北口駅前広場)、地区幹線道路(第二東西連絡道路)等を整備します。
- 高輪ゲートウェイ駅周辺は国際競争力強化に資する業務・商業機能等、地区北側には都心居住を支える都市型集合住宅等が計画されています。
- 国道15号沿道については、国際交流拠点の形成と連携し、周辺市街地と調和した土地利用を図るため、集約的な高層化を誘導します。
- 地区内で出土した高輪築堤については、高輪築堤跡(国指定史跡)の現地保存とまちづくりの両立を図ります。

面積等	約15.5ha	事業費	約721億円
施行者	独立行政法人都市再生機構	事業期間	平成28年度～令和15年度 (清算期間含む)

品川駅街区地区土地区画整理事業

- 京浜急行電鉄品川駅の地平化等による利便性の高い駅への再編並びに複合的な機能の集積を目的として、敷地の整序を行います。
- 公共施設等の整備については、国道15号の一部の整備及び環状第4号線の延伸に必要となる用地の確保を行います。
- 歩行者ネットワークの強化のため、自由通路の空間確保・整備を行います。

面積等	約2.9ha	事業費	約288億円
施行者	独立行政法人都市再生機構	事業期間	平成31年度～令和19年度 (清算期間含む)

品川駅西口土地区画整理事業

令和5年6月認可

- 品川駅に近接する立地特性を生かした国際交流拠点の形成を目指し、都市基盤施設の整備、敷地の整序を進めます。
- 公共施設として、道路及び公園の整備を行うとともに、国道15号上空デッキ整備費用の一部を負担します。
- 地区内の交通を円滑に処理する地下車路や、広域的な歩行者ネットワークの形成に寄与する歩行者通路のほか、品川駅の交通結節機能の一翼を担う駅前広場の整備を推進します。

面積等	約11.9ha	事業費	約630億円
施行者	独立行政法人都市再生機構	事業期間	令和5年度～令和32年度 (清算期間含む)

この地図は東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)31都市基盘整第139号